

(訳文)

所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とベルギー王国との間の条約を改正する議定書

日本国政府及びベルギー王国政府は、

千九百八十八年十一月九日にブリュッセルで署名された議定書によって改正された千九百六十八年三月二十八日に東京で署名された条約(以下「条約」という。)及び同議定書によって改正された千九百六十八年三月二十八日に東京で署名された条約の不可分の一部を成す議定書(以下「千九百六十八年の議定書」という。)を改正することを希望して、

次のとおり協定した。

#### 第一条

条約第二十六条を次のように改める。

#### 第二十六条

1 両締約国の権限のある当局は、この条約の規定の実施又は両締約国若しくは日本国の地方公共団体が課するすべての種類の租税に関する両締約国の法令（当該法令に基づく課税がこの条約の規定に反しない場合に限る。）の規定の運用若しくは執行に関連する情報を交換する。情報の交換は、第一条及び第二二条の規定による制限を受けない。

2 1の規定に基づき一方の締約国が受領した情報は、当該一方の締約国がその法令に基づいて入手した情報と同様に秘密として取り扱うものとし、1に規定する租税の賦課若しくは徴収、これらの租税に関する執行若しくは訴追、これらの租税に関する不服申立てについての決定又はこれらの監督に關与する者又は当局（裁判所及び行政機関を含む。）に対してのみ、開示される。これらの者又は当局は、当該情報をそのような目的のためにのみ使用する。これらの者又は当局は、当該情報を公開の法廷における審理又は司法上の決定において開示することができる。

3 1及び2の規定は、いかなる場合にも、一方の締約国に対し、次のことを行う義務を課するものと解してはならない。

(a) 当該一方の締約国又は他方の締約国の法令及び行政上の慣行に抵触する行政上の措置をとること。

(b) 当該一方の締約国又は他方の締約国の法令の下において又は行政の通常の運営において入手することができない情報を提供すること。

(c) 営業上、事業上、産業上、商業上若しくは職業上の秘密若しくは取引の過程を明らかにするような情報又は公開することが公の秩序に反することになる情報を提供すること。

4 一方の締約国は、他方の締約国がこの条の規定に従って当該一方の締約国に対し情報の提供を要請する場合には、自己の課税目的のために必要でないときであつても、当該情報を入手するために必要な手段を講ずる。一方の締約国がそのような手段を講ずるに当たつては、3の規定に定める制限に従うが、その制限は、いかなる場合にも、当該情報が自己の課税目的のために必要でないことのみを理由としてその提供を拒否することを認めるものと解してはならない。

5 3の規定は、提供を要請された情報が銀行その他の金融機関、信託、財団、名義人、代理人若しくは受託者が有する情報又はある者の所有に関する情報であることのみを理由として、一方の締約国が情報の提供を拒否することを認めるものと解してはならない。

## 第二条

千九百六十八年の議定書3の次に次の3A及び3Bを加える。

3A 条約第二十六条の規定に関し、同条の規定は、ベルギーの地方公共団体が課する租税に関する法令の規定の運用又は執行に関連する情報の交換であつて、両締約国の政府が外交上の公文の交換により合意するものについて、適用する。

3B 条約第二十六条5の規定に関し、

(a) 銀行その他の金融機関、信託、財団、名義人、代理人若しくは受託者が有する情報又はある者の所有に関する情報を入力するために、ベルギーの税務当局は、同条3の規定又はベルギーの法令のいかなる規定にもかかわらず、そのような情報を開示させ、かつ、調査及び聴取を行う権限を有する。

(b) 一方の締約国は、弁護士その他の法律事務代理人がその職務に関してその依頼者との間で行う通信に関する情報であつて、当該一方の締約国の法令に基づいて保護されるものについては、その提供を拒否することができる。

### 第三条

1 各締約国は、他方の締約国に対し、外交上の経路を通じて、この議定書の効力発生のために必要とされ

る国内手続が完了したことを確認する通告を行う。この議定書は、遅い方の通告が受領された日の後三十日目の日に効力を生ずる。

2 この議定書は、次のものについて適用する。

- (a) 日本国については、この議定書が効力を生ずる年の翌年の一月一日以後に課される租税
- (b) ベルギーについては、この議定書が効力を生ずる年の翌年の一月一日以後に開始する各課税期間又は同日以後に生ずる課税対象

3 この議定書は、条約が有効である限り効力を有する。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの議定書に署名した。

二千十年一月二十六日にブリュッセルで、英語により本書二通を作成した。

日本国政府のために

横田淳

ベルギー王国政府のために

ディディエ・レンデルス